shindaiwa

取扱説明書

電動ヘッジトリマー

SH 300 W
SH 400 W

回 二重絶縁

⚠ 注　意

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、内容をよく理解したうえでご使用ください。
不適切な操作や保守は、重大な事故につながるおそれがあります。
なお、本書はいつでも利用できるよう、大切に保管してください。

目　次	頁
はじめに	1
1．安全上の注意	2
2．各部の名称と仕様	5
2-1. 各部の名称	5
2-2. 仕　様	5
3．購入時の点検・組立	6
3-1. 外観と付属品の点検	6
3-2. フロントハンドルの組立	6
4．使用方法	8
4-1. 作業前の点検・準備	8
4-2. スイッチの操作	9
4-3. 刈り込み作業	10
4-4. 本機のあとかたづけ	13
5．点検・整備	14

はじめに

このたびは、新ダイワの電動ヘッジトリマーをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

○この取扱説明書は、本機を安全に正しく使用していただくために作成しています。
本機の取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
○本機の取り扱いは、この取扱説明書の内容を理解し、安全な取り扱いができる人が行ってください。
○本機を貸し出す時は、必ず取扱説明書を添付してください。
○取扱説明書は、いつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

■このヘッジトリマーは高速で往復する刃物で生垣の刈り込みや庭木の整姿・せん定に使用するものです。
事故や故障の原因となりますので、この用途以外には使用しないでください。

■この取扱説明書では、注意事項のランクを下記のように区分しています。

⚠	**警告**：取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。
⚠	**注意**：取り扱いを誤ると、中程度の傷害や軽傷を負う可能性がある場合、および物的損害が発生する可能性がある場合。
<注意>	：その他の注意事項。

○『⚠注意』に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

1．安全上の注意

⚠ **警告**：漏電により**感電**するおそれがあります。

- ○生垣・庭木に水気を含んでいる状態（雨中・雨降り後・散水後など）で使用しないこと。
- ○電源プラグのコンセントへの抜き差しは、ぬれた手で行わないこと。

⚠ **警告**：傷ついた電源コードで**感電**するおそれがあります。

- ○傷ついたコードは修理してから使用すること。
- ○コードを油・薬品や高熱・鋭利な物に触れさせないこと。
- ○動いているブレードを延長コードに近づけないこと。
  延長コードをブレードで切ったときは、切り口に触れずに、ただちにスイッチを切り、延長コードの電源プラグをコンセントから抜くこと。

⚠ **警告**：動いているブレードで**けが**をするおそれがあります。

- ○動いているブレードに手や身体を近づけないこと。
- ○スイッチを切った直後も、ブレードが慣性でしばらく動くので、手や身体を近づけないこと。
- ○オンロックボタンを使用して連続運転を行うときは、瞬時にスイッチを切ることができないので、特に注意すること。
- ○作業するときは5ｍ以内に他の人（特に子供）を近づけないこと。
- ○片手で使用しないこと。
- ○不安定な足場、腕が胸より高くなるなどの不安定な姿勢は避けること。特に、はしごや脚立などに上がって使用するときは注意をすること。
- ○本機を持ったまま急に振り返らないこと。
- ○作業は明るいときに行うこと。
- ○改造したり、部品をはずして使用しないこと。
- ○本体・フロントハンドル・プロテクターなどに損傷のある場合は修理してから使用する。

警告：動いているブレードに引き込まれて**けが**をするおそれがあります。

- ○身体に合った衣服を着用し、そで口・胸元を整えること。
- ○長い髪は束ねて、整えること。
- ○スカーフやアクセサリーなどのぶらつく物は身に付けないこと。

警告：不意に動きだしたブレードで**けが**をするおそれがあります。

- ○スイッチを入れたまま電源プラグをコンセントに差し込まないこと。
- ○電源プラグをコンセントに差し込んだまま移動するときは、スイッチ部に指をかけないこと。
- ○太い枝や金網などがはさまってブレードが動かなくなったときは、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、はさまった物を取り除くこと。
- ○停電になったときは、スイッチのオンロック（『４－２．スイッチの操作』を参照）を解除しておくこと。
- ○使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておくこと。
- ○点検・整備を行うときは、電源プラグをコンセントから抜くこと。

警告：飛び散った針金やブレードの破片などで**けが**をするおそれがあります。

- ○保護めがね（ＪＩＳ－Ｔ８１４７適合品）を着用すること。
- ○生垣や庭木に付いている針金などの硬い異物は取り除くこと。
- ○金網やフェンスなどにブレードを当てないこと。

注意：ブレードが異常なスピードで動き、**けが**をするおそれがあります。

- ○交流100Ｖ以外の電源では使用しないこと。

警告：リヤハンドルの握り方によっては、意図せずオンロックボタンを押してしまい、スイッチを離してもブレードが止まらず、**けが**をするおそれがあります。

- ○リヤハンドルを左手で握って使用しないこと。

⚠ **注意**：ブレードの刃先で**けが**をするおそれがあります。

- ○ブレードの手入れや点検・交換時は、厚手の手袋を着用すること。
- ○使用しないときは、ブレードにブレードカバーを付けておくこと。
- ○本機は、小児の手の届く所や落下のおそれがある所で保管しないこと。

⚠ **注意**：電源コードの接触不良・内部断線・短絡による発熱および放熱不足などで、**火災**になるおそれがあります。

- ○コードを持って電源プラグを抜かないこと。
- ○コードを持って本機を運ばないこと。
- ○電源プラグは、根元までコンセントに差し込むこと。
- ○付属の延長コードは、消費電力７００ワットを超える機器に使用しないこと。
- ○コードをストーブなどの高熱にさらさないこと。
- ○コードを束ねたままで使用しないこと。
- ○コードをステープルなどで固定しないこと。

⚠ **注意**：運転中、モーターのカーボンブラシから出る火花で引火し、**火災**になるおそれがあります。

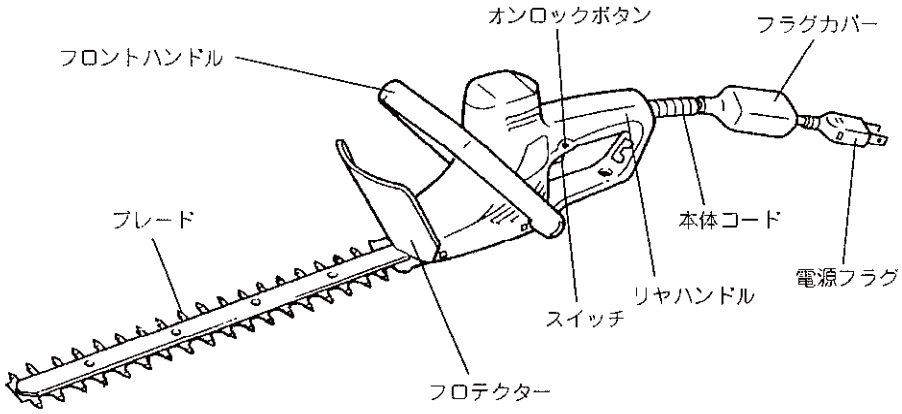
- ○引火性のあるガソリン・シンナー・ガスなどの危険物をまわりに置かないこと。

⚠ **注意**：絶縁が低下し、**感電**するおそれがあります。

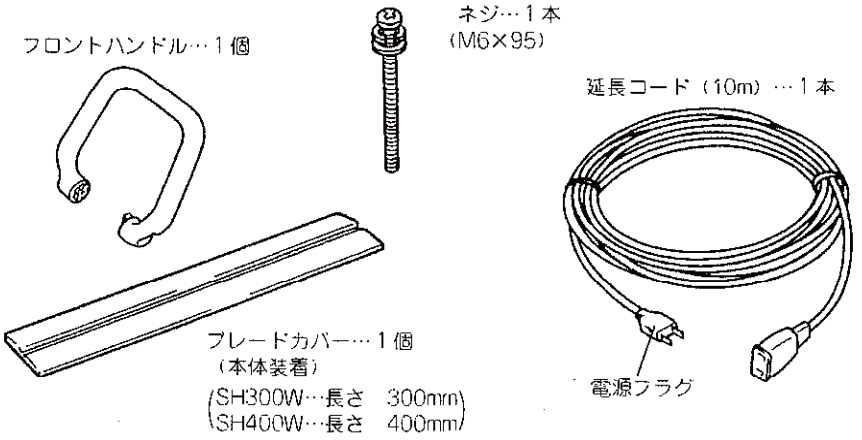
- ○本機は、水にぬれる所や湿気の多い所で保管しないこと。

2．各部の名称と仕様

2－1．各部の名称



＜付属品＞



2－2．仕　様

モデル	SH300W	SH400W
定格電圧 (V)	100	
定格電流 (A)	3	
定格消費電力 (W)	280	
無負荷ストローク数（回／分）	1700	
減速機構	スパーギヤ	
最大切断径 (mm)	新芽の場合　φ10	
刈り込み幅 (mm)	300	400
外形寸法L×W×H (mm)	618×180×154	730×180×154
質量 (kg)	1.8	1.9
その他	オンロックスイッチ装備 二重絶縁構造※ 延長コード10m	

※二重絶縁とは、電気回路と人の触れる部分がそれぞれ別の絶縁物で二重に絶縁された構造をいいます。
この構造では、一つの絶縁部分がこわれても、もう一つの絶縁で保護されており、感電に対する安全性が高くなっています。
このような電動工具を二重絶縁工具と呼び、回マークを表示しています。

3．購入時の点検・組立

障害危険の注意事項

⚠警告

○購入時の点検・組立を行なうときは電源プラグをコンセントに差し込まない。

○フロントハンドルは、必ず組み付ける。

⚠注意

○購入時の点検・組立を行なうときはブレードカバーをはずさない。

3－1．外観と付属品の点検

箱から本機を取り出したら、次の点検を行ってください。

○本機の外観に損傷がないか

○ネジ類のゆるみや脱落がないか

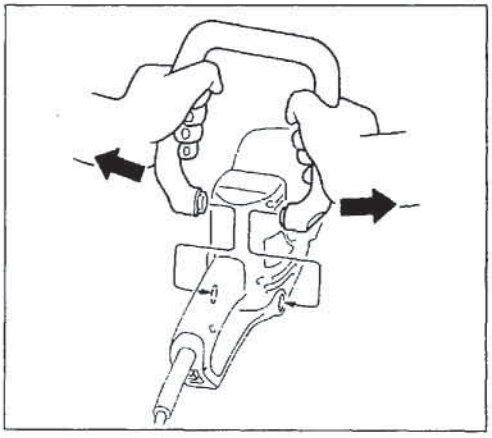
○付属品に欠品がないか（『2－1．各部の名称』を参照）

異常や欠品があったときは、お求めの販売店か弊社営業所へご連絡ください。

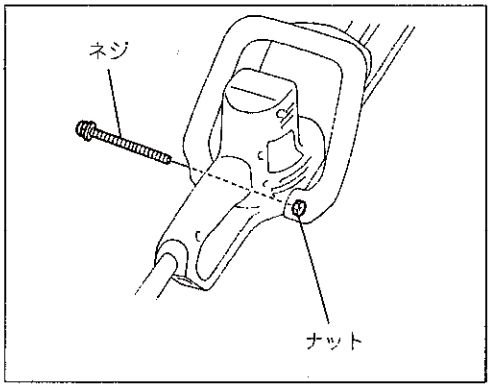
3－2．フロントハンドルの組立

フロントハンドルをはずした梱包形態をとっていますので、次の手順で組み立てて使用してください。

1 コードを手前にして本機を置き、フロントハンドルを少し左右に広げて、本体の凹部にフロントハンドルの凸部をはめこみます。



2 フロントハンドルの片側にナットがあらかじめ入っています。ナットの入ってない穴から付属のネジを差しこんで十分に締め付けてください。



4．使用方法

4－1．作業前の点検・準備

障害危険の注意事項

⚠警告

○作業前の点検・準備するときは電源プラグをコンセントに差し込まない。

○フロントハンドルは、必ず組み付ける。

○本体・フロントハンドル・プロテクターなどに損傷のある場合は修理してから使用する。

感電危険の注意事項

⚠警告

○傷ついたコードは修理してから使用する。

火災危険の注意事項

⚠注意

○本体コードと延長コードの接続は、プラグの根元まで差し込む。

○本体コードと延長コードの接続がゆるまないよう、延長コードをリヤハンドルのフック穴に引っかける。

1 作業前に各部を点検します。

○各部のネジ、特にブレード取り付けネジにゆるみがないか。

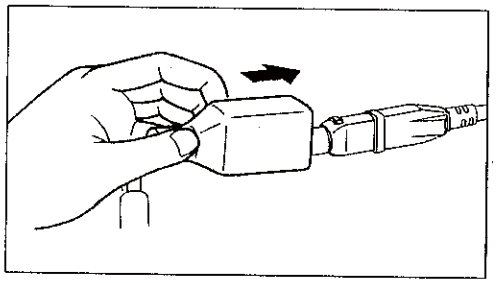
○本体・フロントハンドル·プロテクター・コードなどに損傷がないか。

2 本体コードと延長コードを接続します。

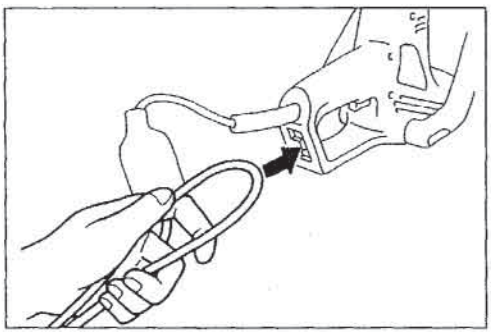
＜注意＞

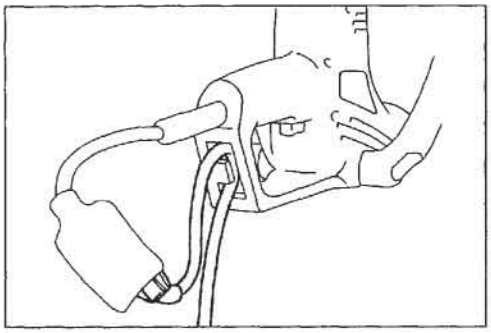
○延長コードは、必ず付属品を使用してください。

3 プラグカバーの根元を持ち、電源プラグの方へ押し込んで接続部をおおいます。

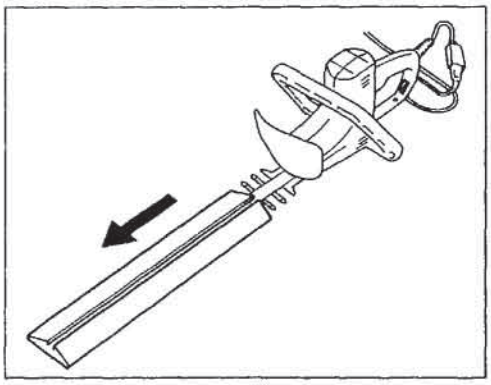


4 図のように延長コードを持ち、コードをリヤハンドル後部のフック穴に差し込んで引っかけます。





5 ブレードカバーを図の方向に抜きます。



4－2．スイッチの操作

傷害危険の注意事項

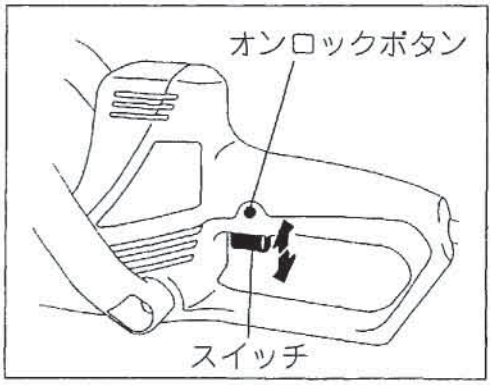
⚠警告

- ○オンロックボタンを使用して連続運転を行うときは、瞬時にスイッチを切ることができないので、特に注意して作業する。
- ○左手でスイッチの操作をしないでください。意図せずオンロックボタンを押してしまい危険です。

スイッチを指で引くと『入』となり、ブレードが動きます。
スイッチから指を離すと『切』となり、ブレードが停止します。

■オンロックボタンによる連続運転

オンロックボタンは、スイッチを『入』で固定させるものです。
スイッチを引いたままオンロックボタンを押し込むと、スイッチから指を離してもスイッチが『切』とならず『入』で固定されます。



もう一度スイッチを引くと、オンロックボタンが飛び出し『入』の固定が解除されます。

4－3．刈り込み作業

感電危険の注意事項

⚠警告

○雨中・雨降り後・散水後など、生垣・庭木に水気を含んでいるときは刈り込み作業をしない。
○電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行わない。
○コードを油・薬品や高熱・鋭利な物に触れさせない。
○動いているブレードを延長コードに近づけない。
延長コードをブレードで切ったときは、切り口に触れずに、ただちにスイッチを切り、延長コードの電源プラグをコンセントから抜く。

傷害危険の注意事項

⚠警告

○改造したり、部品をはずして使用しない。
○生垣や庭木に付いている針金などの硬い異物は取り除く。
○保護めがね（ＪＩＳ－Ｔ８１４７適合品）を着用する。
○身体に合った衣服を着用し、そで口・胸元・長髪を整える。
○スカーフやアクセサリーなどのぶらつく物は身につけない。
○作業するときは５ｍ以内に他の人（特に子供）を近づけない。
○作業は明るいときに行う。
○スイッチを入れたまま電源プラグをコンセントに差し込まない。
○電源プラグをコンセントに差し込んだまま移動するときは、スイッチ部に指をかけない。
○片手で使用しない。
○リヤハンドルを左手で握って使用しない。
○不安定な足場、腕が胸より高くなるなどの不安定な姿勢は避ける。特に、はしごや脚立などに上がって使用するときは注意する。
○動いているブレードに手や身体を近づけない。
○スイッチを切った直後も、ブレードが慣性でしばらく動くので、手や身体を近づけない。
○本機を持ったまま急に振り返らない。
○金網やフェンスなどにブレードを当てない。
○本機を落したり何か異物に当てたときは、使用を中止して点検を行い、損傷のある場合は修理してから使用する。

○太い枝や金網などがはさまってブレードが動かなくなったときは、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、はさまった物を取り除く。

⚠注意

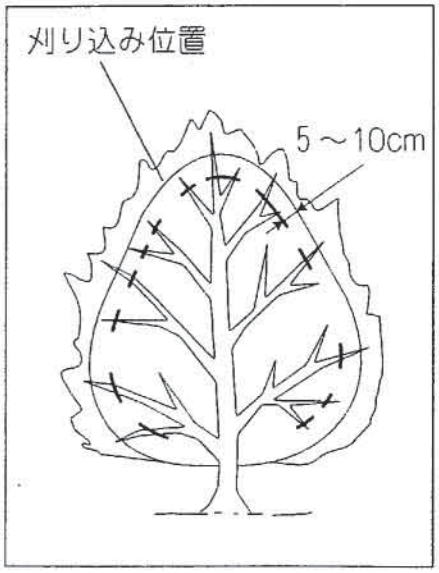
○停電になったときは、スイッチのオンロックを解除しておく。
○交流100V以外の電源では使用しない。
○スイッチのあるリヤハンドルは左手で握らない。

火災危険の注意事項

⚠注意

○引火性のあるガソリン・シンナー・ガスなどの危険物をまわりに置かない。
○コードを持って本機を運ばない。
○電源プラグは、根元までコンセントに差し込む。
○コードをストーブなどの高熱にさらさない。
○コードを束ねたままで使用しない。
○コードをステープルなどで固定しない。

1 直径1cm以上の枝をノコギリやハサミなどで、刈り込み位置より5～10cm内側で切っておきます。



2 生垣や庭木に付いている針金などの硬い異物を取り除きます。

3 スイッチが切れていることを確認します。

4 延長コードの電源プラグをコンセントに差し込みます。

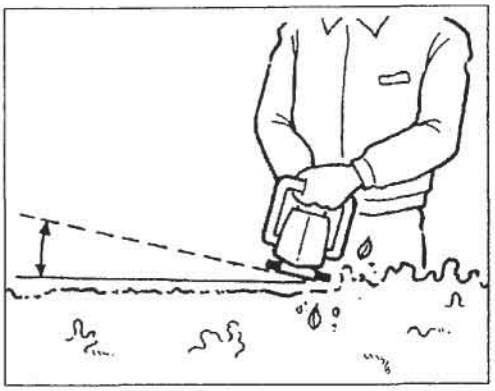
5 右手でリヤハンドルを、左手でフロントハンドルを握って、本機を持ちます。

6 スイッチを入れます。

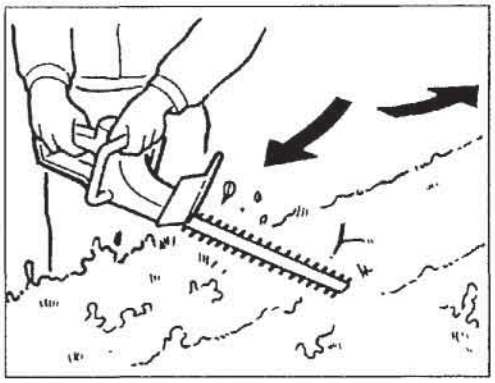
7 ブレードが最高速になってから、刈り込みを始めます。

■刈り込み要領

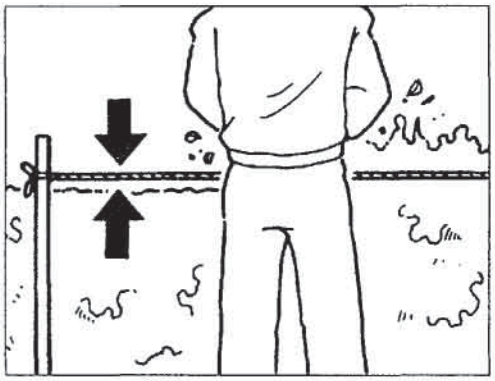
○ブレードを刈り込み方向に対して少し下げて（約15度傾けて）刈り込むと、きれいに仕上がります。



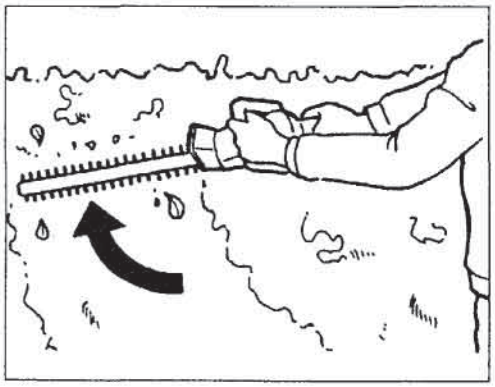
○左右交互にブレードを動かすと、きれいに仕上がります。



○刈り込み高さをそろえるときは、ひもを張って、その線にそって刈り込みます。



○側面を刈り込むときは、下から上に刈り込みます。



4－4．本機のあとかたづけ

傷害危険の注意事項

⚠警告

○本機の手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行う。

⚠注意

○ブレードに触れるときは、厚手の手袋を着用する。

○本機は、小児の手の届く所や落下のおそれがある所で保管しない。

感電危険の注意事項

⚠注意

○本機は、水にぬれる所や湿気の多い所で保管しない。

1 延長コードの電源プラグをコンセントから抜きます。

2 延長コードをリヤハンドル後部のフック穴からはずします。

3 プラグカバーをずらし、本体コードと延長コードの接続をはずします。

4 硬めのブラシでブレードの汚れを落とします。

5 ブレードに機械油などの粘度の低い油を塗布します。

6 ブレードカバーを取り付けます。

7 乾いた布か中性洗剤をつけた布で本体の汚れをふき取ります。

＜注意＞

○変形や割れの原因となりますので、ガソリン・シンナーなどの石油類で本体をふかないでください。

8 直射日光の当たらない、乾燥した場所に保管します。

5．点検・整備

傷害危険の注意事項

⚠警告

○点検・整備を行なうときは、電源プラグをコンセントに差し込まない。

⚠注意

○ブレードの点検・交換時は、厚手の手袋を着用する。

本機を常に良好な状態で使用できるよう、定期的に点検・整備を行ってください。

(1)ブレードの点検

摩耗して切れ味が悪くなったり、硬い異物をはさみ込んで傷ついたブレードは、交換してください。

そのまま使用すると、モーターに無理な力がかかり、故障の原因となります。

＜注意＞

○交換はお求めの販売店か弊社営業所にお申し付けください。

○自分で交換する場合は、替え刃の説明書に従って交換してください。

(2)カーボンブラシの交換

カーボンブラシは、作業時間約80時間で交換が必要です。

交換せずに使用すると、故障の原因となります。

＜注意＞

○交換は、お求めの販売店か弊社営業所にお申し付けください。

(3)故障の場合

正常に作動しなくなった場合は、自分で修理せず、お求めの販売店か弊社営業所に修理をお申し付けください。

株式会社やまびこ

〒198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-6181

やまびこ産業機械株式会社
〒731-3167　広島市安佐南区大塚西6-2-11　　Tel 082-849-2005（代）

やまびこ北海道株式会社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　　Tel 011-891-2249（代）

やまびこ東北株式会社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　　Tel 022-288-0511（代）

やまびこ東部株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

やまびこ中部株式会社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　　Tel 052-502-4111（代）

やまびこ西部株式会社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　　Tel 086-296-5911（代）

やまびこ九州株式会社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　　Tel 092-573-5361（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

24542-94010

(C) 2013 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。

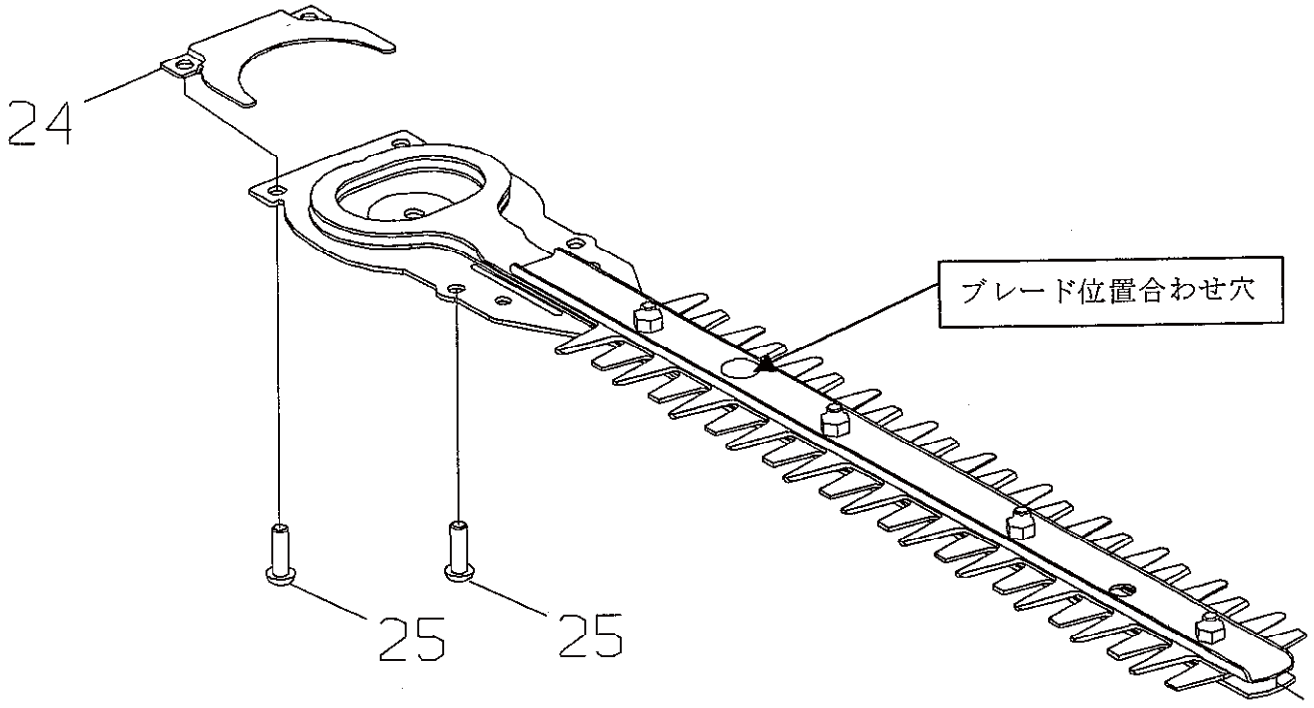
ＳＨ３００Ｗ，４００Ｗブレード交換手順

１，ブレードのはずし方

１）電源プラグをコンセントから抜きます。
２）ブレード中央部分の穴を上刃、下刃、上板、下板が合うように位置合わせを行います。
３）ブレードを本体に固定している４本のビス（No.２５）をはずします。
４）ブレードを本体からはずします。

２，ブレードの組付け方

１）ギヤにカムが奥まで挿入されていること確認します。
２）カム２ヶがブレードに対して直角に横並びなるようにギヤを回します。
３）ブレード中央部分の穴を上刃、下刃、上板、下板が合うように位置合わせを行います。
４）ガイドプレート(No.２４)を図のように、ビス穴部が下板に接する向きで上刃と下刃の間にはいるように挿入します。
５）カムとブレードの穴が合うようにブレードを本体に組み付けます。
その時、ガイドプレート(No.２４)のビス穴と下板のビス穴が本体のビス穴に合うようにします。
ブレードが本体から浮き上がっていないことを確認します。
６）ビス(No.２５)４本を締め付けます。
７）電源プラグをコンセントに差し込みます。
８）スイッチを入れ、ブレードがスムーズに動くことを確認します。



警告：刃物を交換するときは、電源プラグをコンセントに差し込まない。
注意：ブレードの交換時は、厚手の手袋を着用する。

以　上